

# SXR

## The 2nd Scienc-ome XR Innovation Hub

<https://www.scienc-ome.com/sxr>

ハッカソン&サイエンスフォーラム VR空間と現実世界で同時開催

2021年 5/15 (土)、16(日) 9:00am~

様々な専門性を持つ多くの若手研究者が、所属する機関の枠を超えてアイデアを交換する The 2nd Scienc-ome Innovation Hub。現実と仮想現実空間をつなぐクロスリアリティ(XR)システムを用いて、多様な研究者や高校生にて研究チーム形成し、「ハッカソン」と呼ばれる短期間で密に議論して進める方式で開催いたします。

是非、多くの方の参加登録をお待ちしております！

### 開催概要

開催日時： 2021年5月15日(土) 9:00-16:30、2021年5月16日(日) 8:00-13:00

開催地： VR空間

東京会場<CIC Tokyo>

京都会場<けいはんなロボット技術センター>

参加費： 無料

応募締切： 2021年4月12日

### SXRハッカソンの目的

研究プロジェクト立案のためのハッカソンイベントです。アカデミア、企業、大学生、高校生など多様な参加者の個性（知識、経験、興味）をフルパワーで発揮することで破壊的な研究提案を行うことを目的としています。究極的には企業を含めた国際共同研究が生まれることを目指します。

### テーマ

- ・ビヨンド フェムテック
- ・鬼舞辻無惨を生み出すor倒す
- ・アレルギー撲滅
- ・カーボンニュートラル
- ・教育DX
- ・20年後と100年後の食
- ・人間と機械の融合
- ・ドラえものの秘密道具
- ・〇〇創薬
- ・未来のスポーツを作る
- ・デジタルヘルスケア
- ・XRハッカソンをハッカソン！
- ・グローバルヘルス
- ・パンデミックに強い社会
- ・Universal Basic Incomeの実現
- ・がんを過去の病に



### 募集対象

異分野融合に関心のある、あらゆる研究者の方  
(年齢・分野・職位・所属・国籍問わず)  
ハッカソンや科学に関心のある高校生や大学生



### 審査基準

1. Innovation / Originality 聞いたことがない、新しい
2. Impact / Potential. 大きな可能性を持っている
3. Civic needs / Sustainability. 社会から必要とされていて、長期の必然性がある
4. Teamwork / Balance. チームワークと勢い
5. Philosophy / Beauty 学術的な美しさ 6. Feasibility 実用可能性



### 具体的内容

1日目 5/15(土) 9:00~12:00

ハッカソンテーマごとに10人のチームに分かれて異分野の方々との研究紹介とdiscussionを行います。これにより、魅力的な研究計画を立てられそうなサブグループ(3~5人程度)を形成します。

2日目 5/16(日) 9:00~12:00

実際にそのチームで研究立案を行います。サブグループで協力して目的、方法、期待される結果などをまとめます。A4 1枚程度の要旨と7分間のプレゼンにより参加者全体に対して発表を行います。



### 応募方法

イベント公式サイトのお応募フォームよりお申し込みください

### VR会場



クロスリアリティ (XR) 技術の活用によって現実と仮想現実をつなぎ、国と分野と世代の垣根をこえた研究者の多様性に基づくセレンディビティ（社会変革型研究と破壊的イノベーション）を生み出します。

### 主催

一般社団法人慶應反分野のサイエンス会(ASG-Keio)

一般社団法人米国501(c)(3)NPO法人海外日本人研究者ネットワーク(UJA)



### 共催

(ボストン) ロングウッドで朝食を~Breakfast at Longwood~

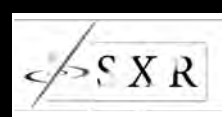
(シカゴ) ノースウェスタン大学日本人研究者の会 (NUJRA)

(ロサンゼルス) Southern California Japanese Scholars Forum (SCJSF)

(東京) 慶應義塾大学イノベーション推進本部、

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、CIC Tokyo

(京都) 京都府、京都府立医科大学



参加申し込みはこちらから！

